

国際規格の動向-国際会議に出席して-

須賀茂雄
*喜多英雄

ASTM D01(塗料)、G03(耐候劣化) アメリカ・ヒューストン国際会議

開催日:2019年1月28日~30日

場所:Hyatt Regency Houston

参加国:アメリカ、日本 2ヶ国

(1) D01.27.TG

ASTM D7869(高湿度条件下のキセノン耐候試験)

RRT が計画されている。対象は、塗装板、樹脂だが、クリアコート塗装のみも含むか議論があった。試験後の測定は、1箇所の lab で行い、評価の偏差を少なくする。

(2) G03.49 Education

議長の David 氏から、昨年1月会議でウェザリングセミナーを開催したように、教育的な場の必要性から Education グループを作ったことの説明があった。今後も自由に議論を進める。

(3) G03.01 Joint Weathering Projects

ASTM G178-16 Standard Practice for Determining the Activation Spectrum of a Material (Wavelength Sensitivity to an Exposure Source) Using the Sharp Cut-On Filter or Spectrographic Technique の改正について、David 氏から NIST とスガ試験機からの提案内容を盛り込み、文章を準備中との報告があった。

(4) G03.03 Simulated and Controlled Environments

ASTM G151 Standard Practice for Exposing Nonmetallic Materials in Accelerated Test Devices that Use Laboratory Light Sources 改正について、校正周期に関して審議された。今後も議論を続ける。

次回は、2019年6月にアメリカ・デンバーにて開催予定。

ISO/TC107 (金属及び無機質被膜) 韓国・アサン国際会議

開催日:2019年2月25日~28日

場所:Onyang Hot Spring Hotel

参加国:ドイツ、フィンランド、ポーランド、韓国、中国、日本
6ヶ国 53名

当社に関する SC7(2月26日)の審議について報告する。

SC7(腐食試験)は、須賀が国際幹事、伊藤叡氏が議長を務めている。以前より提案があった韓国による「Standard Corrosion test method for De-icing Salt Environment for Cr Electroplated Parts」について、改めてプレゼンと議論を行った。従来の ASTM 法や Corrod kote 試験などと異なり、この試験方法は酸性で有効であることが実験から示され、他の方法と明らかに条件が異なるので、新試験法として NP に進めることとした。WD が出来次第 NP 投票にかける。

(現在 8/2 期限で NP 投票中)

次回は、2020年2月に中国、馬鞍山市にて開催予定。

< ISO 規格発行までの手順 >

予備段階	PWI	Preliminary Work Item (Project)
提案段階	NP	New Proposal for a work item
作成段階	WD	Working Draft
委員会段階	CD	Committee Draft
照会段階	DIS	Draft International Standard
承認段階	FDIS	Final Draft International Standard
発行段階	IS	International Standard

RRT: Round Robin Test
CIB: Committee Internal ballot

*校正部 部長